

1. 単元名 「日本一のお米～七城の米作り～」

2. 単元の目標

- ・ 種粃の発芽や田植え、稲刈り等の体験を通して、米作りについての基礎的な知識を理解するとともに、七城町の米作りについての歴史的背景や課題を理解することができる。(知識及び技能)
- ・ 米作りの体験活動や先哲の知恵や努力を調べる活動を通して、生産性を向上させたり、良質の米を作ったりするために必要な方法を考えるとともに、それらを維持・継承していくために自分たちにできることを考えることができる。(思考力・判断力・表現力等)
- ・ 七城町の米作りについて、歴史的背景や課題について意欲的に調べるとともに、地域の良さを維持・継承していくために自分たちにできることを考えようとしている。
(主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

本単元では、子どもたちが住んでいる七城町の主産業である農業「稲作」について、種粃の発芽から田植え、稲刈り、収穫祭(消費)まで様々な体験活動を通して、農家の方々の努力や働くことの意義を実感することができる。現在、全国的にも有数の米どころとなった菊池市七城町ではあるが、その歴史的背景を学ぶとともに、勤労生産指導員や老人会など地域の方々をゲストティーチャーとして招き、交流することを通して、地域の方々の思いや願いを知るとともに、先哲の知恵や努力を学ぶことができる。また、近年、熊本県菊陽町での世界的半導体企業の誘致に伴い、七城町をはじめとした近隣地域にも産業や農業、環境面で大きな変革がもたらされている。少子高齢社会などの社会的課題などによる農業従事者の減少に伴う後継者不足などの課題も大きい。地域の良さや自然環境を守り、SDGs 9「産業と技術革新の基盤をつくろう」やSDGs 15「陸の豊かさを守ろう」、SDGs 11「住み続けられるまちづくりを」などを達成するために、自分たちにできることを生産者や消費者など様々な側面から多面的・多角的に考えることができる教材である。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、小学校においても「米作り」を経験してきている。中学生となり、自己の生き方を考えるキャリア形成の時期に、改めて「米作り」に取り組むことで、勤労観はもとより、社会づくりの担い手であるという意識の向上やふるさとを愛する心を育てる上で非常に意義深いと考える。

(3) 指導観

本単元の学習にあたっては、まず地域の方々との米作り体験を通して、米作りの大変さを実感し、自分たちの地域の良さに愛着や自負を持つことができるようにするとともに、自分たちの住む地域の良さや自然環境を守り継承していこうという思いを持つことができるようにする。

また、“七城のお米はおいしい”ということはほとんどの生徒が認識しているものの、当たり前すぎて「本当に他の地域のお米と比べておいしいのか」や「なぜおいしいお米ができるのか」などを考えるに至っていない生徒が多い。したがって、他の地域のお米と食べ比べを行ったり、米作りの仕方や七城の米作りにまつわる歴史的背景、農家の方々の努力等を調べたりする活動を通して、先哲の知恵や努力、自然環境との関連を理解させるとともに、ものごとを批判的に考える力を育成したい。

さらに、昨今の世界的半導体企業の誘致に伴う様々な社会的変容による多くの課題についても、様々な視点で考えさせることで、自分たちが未来の社会づくりの担い手であるという意識を向上させたい。

(4) ESDとの関連

・ 本学習で働かせる ESD の視点（見方・考え方）

相互性・・・米作りは自然と密接な関係にあり、自然環境も考える必要があること

公平性・・・七城のお米を未来に残すために、生産者だけでなく消費者など、様々な立場の人たちがそれぞれに努力をすることが大切であること

有限性・・・お米そのものやそれを作る人的資源、自然環境も限りがあることを理解し、これらを守っていかなければならないということ

・ 本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

批判的に考える力

“七城のお米といえばおいしい”と当たり前のように認識していることが、どのような背景や努力、仕組みによって成り立っているのかといった「これまでの米づくり」について学び ESD の視点から見直すことを通して「これからの米づくり」はどうあるべきかを考える。

多面的・総合的に考える力

米作り（生産者）や収穫祭（消費者）の体験活動や地域の方のお話を通して、米作りに関わる課題や自分たちにできることについて多面的・総合的に考える。

他者と協力する力

苗床づくりや田植え、稲刈り、収穫祭など、生徒同士や地域の方々と協力しながら体験学習を進めていく。

・ 本学習で変容を促す ESD の価値観

世代間の公正

過去の先哲の知恵と努力のおかげで現在があることを学び、未来の世代の人にも、地域の良さや自然環境を守り継承していかなければならない。

世代内の公正

生産者も、消費者も、自然環境も豊かになるような努力をしていかなければならない。

幸福感を重視する

地域の良さを再認識し、地域に愛着を持つとともに、それらを支えてきた先哲や、現在支えている地域の方々に感謝の気持ちを持つ。

・ 達成が期待される SDGs

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

11 住み続けられるまちづくりを

15 陸の豊かさも守ろう

4. 単元の評価規準

ア 知識及び技能	イ 思考力・判断力・表現力等	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 米作りについての基礎的な知識を理解している。 ② 七城町の米作りについての歴史的背景や課題を理解している。	① 生産性を向上させたり、良質の米を作ったりするために必要な方法を考えている。 ② 地域の良さを維持・継承していくために自分たちにできることを考えている。	① 七城町の米作りについて、歴史的背景や課題について意欲的に調べようとしている。 ② 地域の良さを維持・継承していくために自分たちにできることを考えようとしている。

5. 単元の指導計画（全 12 時間）

次	主な学習活動	学習への支援（・）	評価（△） 備考（・）
1	○稲の種粃を植えて苗床を作る。 ・元気に大きく育ててほしいな。 ・この数粒の種粃から、たくさんのお米が収穫できるなんてすごい。	・勤労生産指導員の方々から苗床の作り方を教わり、生徒自身に作らせることで主体的に学習に取り組む意欲を高める。	△ア① （知技）
2	○田植えをする。 ・手作業での田植えは大変だな。 ・田んぼの土の感触が気持ちいいな。 ・米作りには手間がかかるな。	・勤労生産指導員の方々から田植えの仕方を教わり、生徒自身が自分で手植えすることで勤労観を育む。また、農家の方や自然への感謝の気持ちを高める。	△ア① （知技） △ウ② （主体的）
3	○七城のお米は本当においしいのか、なぜ七城は日本有数の米どころになったのか調べる。 ・やっぱり七城のお米はおいしい。 ・おいしいお米を作る必要条件是「土壌の水はけが良いこと」「昼夜間の寒暖差が大きいこと」である。 ・七城には昔は水はけが悪い湿田が多かった。（大昔は湖だった。） ・富田甚平さんという人のおかげ。（富田式暗渠排水工法） ○富田甚平さんの思いを知り、地域を持続発展させていくために自分たちにできることを考える。 ・自分のためではなくみんなのために行動するなんてすごい。	・実際に七城のお米と他の地域のお米を食べ比べて七城のお米のおいしさを実感することで、地域の良さを維持継承していかなければならないという思いを高める。 ・当たり前のように感じていることやものも、先人の知恵や努力によって今があるということを知り、これからの地域のために自分たちに何ができるかを考えさせる。	△ア② （知技） △ウ① （主体的） △イ①② （思判表） △ウ② （主体的）

	・排水した水を再利用するという発想は、SDGsにつながる。 ・誰かのために、地域のために、より良いものにと信念を持って行動していきたい。 ・自然の恵みと人の努力によって、豊かな社会になるんだな。 ○これまでの米作りの課題をふまえてこれからの米作りの在り方について考え、自分たちにできることをまとめる。 ・後継者不足の問題、TSMCなどの進出による農業用地の減少、米価格の上昇などがあるんだな。 ・有機農業などの環境や健康に配慮した米作りに取り組んでいる人がいるんだな。 ・水などの資源や環境を大切にすることが七城の米作りを守ることにもつながるな。	・後継者問題や環境問題など、米作りに関わる課題について考えることを通して、自分にできることを考えさせる。 ・菊池地域では環境や健康に配慮した有機農業が盛んであり、有機農業に取り組む農家の方の話を聞くことでこれからの米作りについて多様な視点を持てるようにする。	△イ①② (思判表) △ウ② (主体的)
4	○稲刈りをする。 ・大きく育ててくれてありがとう。 ・七城のお米を未来にも残していかないと。 ・みんなで作業をすると大変なことでもなんとかなるな。 ○収穫祭を開き、これからの米作りについて考えたことを発表するとともに、育てたお米や餅をみんなで食べる。 ・自分たちで育てて収穫したお米やお餅はより一層おいしいな。 ・この地域の良さを持続できるように自分も努力していかなければ。	・勤労生産指導員の方々から苗の作り方を教わり、生徒自身が手作業で刈り取ることで、収穫への喜びをより一層高める。 ・大変な作業も仲間と協力することで解決できることや達成感を味わわせる。 ・老人会の方にご協力いただき、ご飯を炊いたり、餅をついたりするとともに、実際に食することで収穫の喜びを改めて実感する。	△ウ② (主体的) △イ② (思判表)